



# クビアカツヤカミキリ対策 行動記録ファイル⑫



日時：令和8年10月7日（水）午前9時30分～午前11時30分

場所：入野地区及び津風呂ダム堰堤付近

内容：今年度3回目のクビアカツヤカミキリ対策モニタリング調査は、9月の長雨続きで日程を延期し、10月に実施することとなった。

この時期になると成虫の姿はなく、フラスや脱出口を頼りに調査を進めることとなるが、フラスも雨で流され、慎重な観察が必要となった。

今回のモニタリング調査は、津風呂湖畔を中心に農林水産省近畿農政局南近畿土地改良調査管理事務所・津風呂ダム管理事務所・吉野町暮らし環境整備課の職員約10名を2班に分け実施した。

被害木本数は、196本中14本。

入野地区の桜並木においては、昨年度から注意深く状況を確認していたものの123本中13本の被害木が確認され、改めて年2～3回のモニタリング調査の必要性を感じた。

また、津風呂湖畔には約1万本の桜が植樹されており、農林水産省（津風呂ダム管理事務所）との合同モニタリング調査を実施できたことは、吉野町の桜保全活動にとって、とても大きな一歩となった。ほとんどの桜が湖面と道路の境の傾斜地に植栽されており、調査には危険を伴う点と総延長が長いことが課題である。

今後は、農林水産省との情報交換を密に交わす等連携を強めていきたい。



参加者の集合写真



入野桜並木沿いの調査



津風呂湖展望台の調査



丹生津風呂神社の調査



津風呂ダム事務所前の調査